

## 触媒学会会長候補者「経歴と会長としての抱負」

1) 候補者氏名

福岡 淳 (ふくおかあつし)



2) 生年月日

1958年7月12日

3) 略歴

1982年 東京大学工学部合成化学科 卒業

1985年 東京大学大学院工学系研究科博士課程 中退

1986年 北海道大学触媒研究所 助手

1991年 東京農工大学工学部 講師

1995年 東京農工大学工学部 助教授

1997年 北海道大学触媒化学研究センター 助教授

2007年 北海道大学触媒化学研究センター 教授

2015年 北海道大学触媒科学研究所 教授 (現職)

この間、2010～2014年 北海道大学触媒化学研究センター長、

2014年～現在 北海道大学総長補佐 (経営戦略室)

4) 所属・職位

北海道大学触媒科学研究所 教授

5) 専門分野

触媒化学、バイオマス変換、グリーン化学

6) 受賞歴

1994年 触媒学会 奨励賞

2015年 触媒学会 学会賞 (学術部門)

2015年 北海道大学 研究総長賞・優秀賞

2015年 グリーン・サステイナブル・ケミストリー (GSC) 賞・文部科学大臣賞

2017年 北海道大学 研究総長賞・優秀賞

7) 会長としての抱負 (350字程度)

触媒は化学反応を促進する物質として、資源・エネルギー変換および環境浄化などの分野において重要な役割を果たしています。近年、触媒の応用範囲は広がりをみせ、触媒の学術的な発展と技術的な展開に対する期待が高くなっています。本会の目的は、このように成長を続ける触媒の科学・技術に関する最新情報を交換する場として産官学の会員の便宜を図ることです。そこで、まずは討論会や会誌発行などの活動をより充実するべく努めます。私としては、特に若手育成と国際交流に重点を置きたいと考えています。例えば、討論会での若手の積極的な登壇を促し切磋琢磨の場としての活用を奨励します。国際交流としては、2018年夏の TOCAT8 を成功させ、国際触媒会議 (ICC) の日本誘致に向けてアジア・欧米諸国への働きかけを開始します。2018年は触媒学会創立60周年にあたり、記念行事として式典・祝賀会、触媒誌記念号の出版などが行われる予定です。これらの活動についても全力で取り組む所存です。